

## 9 消防団概要

昭和38年、五市合併による北九州市の発足に伴い、門司消防団、小倉消防団、若松消防団、八幡消防団、戸畑消防団、洞海湾消防団の6団、89分団2,979人となりました。

昭和49年、北九州市の行政区再編成と併せてスタートした「消防団の近代化計画」により、門司消防団、小倉北消防団、小倉南消防団、若松消防団、八幡東消防団、八幡西消防団、戸畑消防団、洞海湾消防団の8団、8本部、69分団、定員2,030人の体制となり現在に至っています。

### (1) 消防団の現況

#### ア 組織等

門司消防団…1本部…11分団…7支部      八幡東消防団…1本部…7分団…2支部  
 小倉北消防団…1本部…9分団…1支部      八幡西消防団…1本部…12分団…2支部  
 小倉南消防団…1本部…14分団…13支部      戸畑消防団…1本部…5分団  
 若松消防団…1本部…7分団…5支部      洞海湾消防団…1本部…4分団

【第80表】消防団の定員・現員

(令和2年4月1日現在)

区分	消防団	分団	計	消防団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
計	8	69	2,030 (1,884)	8 (8)	16 (16)	92 (92)	83 (80)	149 (142)	336 (312)	1,346 (1,234)
門司	1	11	338 (333)	1 (1)	2 (2)	14 (14)	13 (13)	24 (23)	56 (49)	228 (231)
小倉北	1	9	244 (202)	1 (1)	2 (2)	12 (12)	11 (10)	20 (18)	42 (31)	156 (128)
小倉南	1	14	452 (427)	1 (1)	2 (2)	17 (17)	16 (15)	30 (29)	74 (72)	312 (291)
若松	1	7	222 (222)	1 (1)	2 (2)	10 (10)	9 (9)	16 (16)	38 (37)	146 (147)
八幡東	1	7	204 (190)	1 (1)	2 (2)	10 (10)	9 (9)	16 (16)	35 (35)	131 (117)
八幡西	1	12	340 (296)	1 (1)	2 (2)	15 (15)	14 (14)	26 (26)	55 (55)	227 (183)
戸畑	1	5	140 (131)	1 (1)	2 (2)	8 (8)	7 (6)	12 (9)	25 (25)	85 (80)
洞海湾	1	4	90 (83)	1 (1)	2 (2)	6 (6)	4 (4)	5 (5)	11 (8)	61 (57)

(注)1 ( )内は、現員

2 定員は、北九州市消防団の組織等に関する規則第4条ただし書きの規定により、臨時に定員及び配置を変更した数

【第81表】消防団員の報酬・費用弁償

(令和2年4月1日現在)

報酬 (年額/円)									費用弁償 (出勤1回当り/円)				
消防団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	機関員	機関員補助者	災害		警戒	訓練	
									(活動有り)				(活動なし)
									5時間越	5時間以下			
82,500	69,000	50,500	45,500	37,000	37,000	36,500	20,000	10,000	14,000	7,000	4,400	4,400	4,400

【第 82 表】消防団員の年齢

(令和2年4月1日現在)

	平均年齢	計	18歳～ 20歳	21歳～ 25歳	26歳～ 30歳	31歳～ 35歳	36歳～ 40歳	41歳～ 45歳	46歳～ 50歳	51歳～ 55歳	56歳～ 60歳	61歳以上
計	43.2	1,884	37	96	163	186	265	312	311	219	178	117
門 司	42.9	333	4	12	43	43	35	57	46	37	40	16
小倉北	43.2	202	6	12	11	21	26	40	29	28	15	14
小倉南	44.2	427	3	19	21	41	71	74	75	64	34	25
若 松	43.2	222	4	8	25	25	25	32	50	17	15	21
八幡東	43.9	190	8	16	15	9	19	31	28	20	24	20
八幡西	42.4	296	9	20	24	23	52	46	48	30	29	15
戸 畑	41.9	131	3	5	12	16	20	22	25	16	9	3
洞海湾	42.3	83	0	4	12	8	17	10	10	7	12	3

(注)全体の平均年齢は、各消防団の平均年齢から算出

【第 83 表】消防団員の在職年数

(令和2年4月1日現在)

	平均在職年数	計	5年未満	5年～ 9年	10年～ 14年	15年～ 19年	20年～ 24年	25年～ 29年	30年以上
計	11.8	1,884	495	421	347	266	153	110	92
門 司	12.5	333	75	74	66	47	31	20	20
小倉北	11.7	202	60	50	26	28	16	11	11
小倉南	10.8	427	111	104	86	70	26	18	12
若 松	12.1	222	64	47	36	22	23	14	16
八幡東	11.8	190	56	38	27	35	14	8	12
八幡西	12.2	296	82	58	52	40	25	23	16
戸 畑	11.3	131	26	31	38	13	14	7	2
洞海湾	11.9	83	21	19	16	11	4	9	3

(注)全体の平均在職年数は、各消防団の平均在職年数から算出

## イ 施設・機材等

【第 84 表】消防団施設

(令和2年4月1日現在)

項 目	分 団 本 部	分 団 支 部
施 設 数	65個所	30個所
敷地面積 (基準)	330㎡	100㎡
建物構造 (基準)	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造
建物面積 (基準)	約100㎡	約35㎡
工 作 物	ホース乾燥台	

【第 85 表】消防団機材等の配置

(令和2年4月1日現在)

区 分	門 司	小倉北	小倉南	若 松	八幡東	八幡西	戸 畑	洞海湾	計
分 団 本 部	11	9	14	7	7	12	5	4	69
分 団 支 部	7	1	13	5	2	2			30
車 両	指 揮 車	1	1	1	1	1	1	1	8
	ポ ン プ 車	11	8	14	7	7	12	5	64
	小型動力ポンプ積載車	7		13	5	2	2		29
	自 走 式 搬 送 車		2						2
そ の 他	消 防 艇							(8)	(8)
	携 帯 無 線 機	12	11	15	8	8	13	6	73
	無 線 受 令 機	19	9	28	13	10	15	6	101
ト ラ ン シ ー バ ー	217	151	298	145	127	202	85	10	1,235
発 動 式 発 電 機	21	10	29	13	17	24	6		120
投 光 器	23	18	14	8	17	24	6		110
メ ガ ホ ン	21	12	38	1	7	14	6	1	100
強 力 ラ イ ト	75	44	109	34	38	69	28	3	400
警 戒 ロ ー プ	28	18	33	8	7	22	10		126
担 架	34	18	46	13	19	26	10		166
ス コ ッ プ ( 角 )	45	13	33	21	20	19	17		168
ス コ ッ プ ( 剣 )	113	88	234	33	41	112	42		663
つ る は し	17	14	25	13	6	20	7		102
が ん づ め	48	38	75		14	45	20		240
ペ ン チ	17	18	17	8	5	22	6		93
金 槌	29	19	44	13	12	27	8		152
掛 矢	30	23	45	13	19	27	11		168
鎌	68	42	105	21	34	59	22		351
鋸	33	20	26	7	4	32	10		132
救 命 胴 衣	194	126	378	138	158	164	85	70	1,313
可 搬 式 散 水 器	65	30	55	16	27	48			241
鉈	19	20	28	10	4	27			108
リ ュ ッ ク サ ッ ク	34	21	44	7		10			116
水 筒	35	32	70	23	4	36			200
防 塵 メ ガ ネ	161	121	121	160	71	170	28		832
防 塵 マ ス ク	258	152	466	160	113	212	125		1,486
蛍 光 チ ョ ッ キ	50	36	75	40	26	49	27		303
合 図 灯	56	39	95	35	30	48	27		330
40mm ホ ー ス	81	47	61	61	57	61	45		413
50mm ホ ー ス	201	65	274	129	125	218	52		1,064
65mm ホ ー ス	427	268	656	289	223	502	131		2,496
万 能 斧	16	10	24	13	10	15	6		94
ワ イ ヤ ー ロ ー プ	6	6	12	7	3	13	6		53
チ ェ ー ン ソ ー	11	10	14	7	7	12	5		66

(注)1 可搬式散水器・なた・リュックサック・水筒は、管内に山林を擁する分団に配置

2 消防艇の( )内は、民間艇

(2) 消防団の活動等

【第86表】消防団員の教育・訓練等実施状況

(令和元年度)

	項目	対象者	期間等	人数等	内容
消防学校	消防大学校消防団長科	副団長以上	5日間	1	消防団の上級幹部として必要な知識や技術を総合的に習得させ、資質の向上を図る
	県消防学校指揮幹部科分団指揮課程	分団長 副分団長	年1回	7	分団長又は副分団長として必要な知識・技術の習得
	県消防学校指揮幹部科現場指揮課程	部長	2日間	6	部長として必要な知識・技術の習得
	県消防学校初級幹部科	部長・班長	2日間	6	指導者として必要な知識・技術の習得
消防局	初任科研修	団員	年1回	71	団員として必要な基礎知識・技術の習得
	幹部科研修	班長以上	年1回	85	幹部として必要な知識・技術の習得
	女性消防団員研修	女性消防団員	年1回	83	防火・防災に関する各種訓練
	応急手当普及員講習	女性消防団員	3日間	7	応急手当普及員の資格取得
	署・団連携消防活動実戦訓練	指定分団	平日夜間	65分団	建物密集地での火災を想定した実戦訓練
	後期警防技術錬成会	指定分団	年1回	7分団	建物火災を想定した実戦訓練
各署・各団	警防技術訓練	全消防団員	随時	全消防団員	消防団員として必要な警防技術の習得
	機関員訓練	機関員及び機関員補助者	随時	300人程度	機関員として必要な技術の習得
	人権研修	全消防団員	年2回	全消防団員	人権研修等
	安全運転管理者研修	副団長	年1回	7	安全運転管理者講習
	他都市視察研修	分団長以上	年1回	116	他都市の消防団運営状況視察
	年間計画に基づく訓練	全消防団員	随時	全消防団員	各消防団で計画を立て規律訓練、放水訓練等を実施
市消防協会	消防協会研修	全消防団員	年1回	500	消防協会主催による消防団員研修
	他都市視察研修	消防団長	年1回	8	他都市の消防団情勢の視察
	共済運営事業視察研修	副団長	年1回	13	他都市の消防団共済運営状況の視察
その他	定期健康診断	農業・漁業等自営業者	年1回	424	消防団員の健康管理と疾病による公務災害の未然防止を図る

【第 87 表】消防団に対する表彰

(令和元年度)

表 彰 区 分	内 容	計
叙 勲	瑞 宝 単 光 章	8人
北九州市長表彰	優良表彰（退職消防団員）	41人
福岡県知事表彰	永 年 勤 続	39人
消防長表彰	優 良 表 彰	11人
消防団長表彰	優 良 表 彰	25人
福岡県消防協会長表彰	優良消防団（竿頭綬）	4分団
	優良消防団員	93人
	永年勤続 45年以上	1人
	永年勤続 40年以上	4人
	永年勤続 35年以上	6人
	永年勤続 30年以上	13人
	永年勤続 25年以上	26人
	永年勤続 20年以上	37人
	永年勤続 15年以上	61人
	永年勤続 10年以上	87人
	親子・夫婦・兄弟消防団員	12組
北九州市消防協会長表彰	優良消防団（分団）	1分団
	優良団員	40人
	優良団員（ポンプ操法大会出場者）	63人
消防庁長官表彰	永年勤続功労章	8人
	消防団等地域活動表彰	2団
日本消防協会長表彰	功 績 章	3人
	精 績 章	3人
	勤 続 章	9人
合 計	2団・5分団・12組・578人	

【第 88 表】消防団員の活動実績

(令和元年度)

項 目	合 計	災害活動	年末警戒・祭礼等警戒活動	訓練・研修・予防広報活動
延べ出動人員	27,505人	3,363人	4,361人	19,781人
消防団員1人当たりの出動回数	14.5回	1.8回	2.3回	10.5回

(注) 「消防団員1人当たりの出動回数」は、平成31年4月1日現在の現員（1,892人）を用いて算出

【第 89 表】消防団員の公務災害発生状況

(令和元年度)

	計	門 司	小倉北	小倉南	若 松	八幡東	八幡西	戸 畑	洞海湾
計	2	0	1	1	0	0	0	0	0
災害現場	1		1						
警防訓練	0								
その他	1			1					

## (3) 女性消防団員の取組み

消防団の活性化を図り、地域と密着した親しみのある消防団を目指すため、昭和63年度から5か年計画で女性消防団員128人を採用しました。また、活動業務のさらなる充実を図るため、平成12年度から増員を図り、平成17年度には定員を154人としています。

## 【第90表】女性消防団員の現員

(令和2年4月1日現在)

所属	計	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑
人員	148	21	17	28	18	19	25	20

## 【第91表】女性消防団員の活動実績

(令和元年度)

種別	計	研修	訓練演習	年末警戒 祭礼警戒	予防広報	いきいき安心訪問
回数	2,047回	99回	53回	5回	42回	1,848回 (訪問世帯数)
延べ活動人員	6,040人	1,220人	694人	61人	369人	3,696人 (訪問団員数)

## (4) 関係団体

## 【第92表】北九州市消防協会

(令和2年4月1日現在)

区 分	内 容
設 立	昭和39年7月1日
目 的	北九州市8団の緊密な連携のもと、消防団活動の円滑な運営を行うため、消防の知識・技術の向上と調査研究、消防諸施設の改善、福利厚生の実施等により、消防力の強化を図るとともに消防思想を普及し、もって市民の災厄を防除し公共の福祉の増進に寄与すること。
会 員	消防団員
名 誉 会 員	本会のため功労顕著な者及び学識経験者
賛 助 会 員	本会の趣旨を賛同し金品等を寄与した者
役 員	会長1人、副会長1人、常任理事8人 (正副会長を含む) 共済委員16人 (事務局長及び監事を含む)、監事2人、事務局長1人、代議員8人
経 費	北九州市補助金 (協会事業費は全額補助金、共済事業費は会員会費及び補助金)